



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越



不動明王と仏石(柿崎) 撮影 上越市在住 渡辺信行さん

「たより」No.274 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越コーナー	3
・上越の行事・展示会	
・上越の旬の話題	
・上越市に新市長誕生	
・川上善兵衛ものがたりの連載開始	
・今年も元気 白鳥の飛来	
・4年ぶりにカレンダーを発売	
話題の新刊.....	4
「私、おじいちゃんの耳と口になる」の真実	河村一美
上越市からのお知らせ	6
上越産品販売のお知らせ	6
会員ひろば.....	6
すべて好き 心休まるふるさと	佐久間昇二
鯉橋師匠高座予定	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ

「ふるさと上越ネットワーク」では、「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在 598 名です。(令和3年度目標 610名)

(2) 「ふるさと市場」(10月合計)の販売状況 104点 ¥250,372 (前年同月 90点 ¥245,997)

Jネットの活動とお知らせ

1. 10月14日と11月11日にサロン開催

次回は 12月9日(木)、その次は 令和4年1月13日(木)。ぜひご参加ください。

コロナ禍の新規感染者数が激減する中、サロンは、10、11月もオンラインで開催されました。19時までの時間いっぱい、いろいろな話題で盛り上がりました。とはいえ、やはり、実際に集まるサロンが待たれるところです。コロナ禍が再燃しないように祈りつつ、、、。

【次回以降のサロン】

毎月第2木曜日にサロンを開催しています。実際のサロンと異なり、オンラインですので全国どこからでも参加できます。

日程：12月9日(木)、令和4年1月13日(木)

いずれも、時間は17:15 - 19:00。

オンラインにて開催(予定)。

お申込みは、事務局宮里 k.miyazato@araipt.cp.jp まで。URLをお届けします。

ご参加は超簡単、クリック1回で参加できます。未体験の方も是非、ご参加ください。事前に操作方法もお手伝いします。



令和3年11月11日サロン

2. いま旬のホームページ(HP)をご覧ください。

おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせ大きく増えております。内容も、上越市の18枚の写真の他、次のように掲載は多様です。

- ・お知らせ：上越関連TV放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店などの話題。
- ・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
- ・「たより」：全頁カラーで過去2年分を掲載。
- ・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
- ・他HPへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員7社のHP。

ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン(JCV)の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・PSWにてログインしてください

※ 11/30 までの ID.PSW



※ 12/1 ~の ID.PSW



上越タイムス全頁を閲覧する場合は、同紙画面から、PDFをクリックしてください。

1. 上越の行事・展示会

毎年開催のレルヒ祭（2月）や灯の回廊（2月）などについては開催要領の発表が遅れていますので、次号以降にて掲載します。

(1) 上越妙高駅東口イルミネーション(令和4年3月14日まで。5:00-11:00 pm)

上越妙高駅東口では、たくさんのお木々がライトで装飾されています。その中に、お迎えキャラクター「ウェルモ」も隠れています。ぜひ探してみてください。



2. 上越の旬の話題

(1) 上越市に新市長誕生

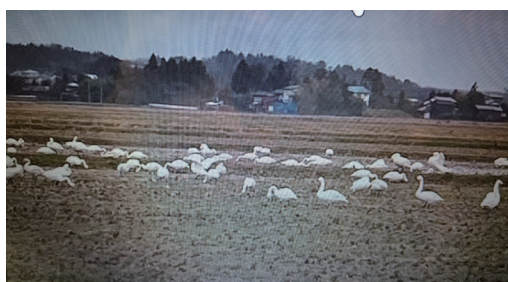
上越市長選挙は10月31日投開票し、中川幹太氏（46才）が当選、12年ぶりに新市長誕生となった。中川市長は、1975年兵庫県生れ、広島大学工学部卒、20年ほど前から、夫人の出身地である桑取・谷浜地区に移住、2001年からNPO法人かみえちご山里ファン倶楽部事務局長（2007年まで）、2008年より2016年まで上越市議、その後、2017年市長選挙に立候補するも僅差で惜敗、今回は、前副市長の野澤朗氏との接戦を制し、8600票差で当選した。



中川市長は、「よそ者からみた上越は魅力的」とし、「ふるさとを愛そう！」をスローガンに、「自分たちの住む地域の魅力を知ってほしい」と歯切れよく語る。当面の対策として、「コロナ禍」「災害」などへの対応を挙げ、市政運営にあたって、市民目線、現場重視を強調する。

当会「ネットの春の交流会や東京でのサロンにも出席されたこともあり、当会も上越の売り込みという当会目的のもと、ひと役担っていきたい

(2) 今年も元気 白鳥の飛来



10月下旬になって、例年通り、白鳥がやってきました。上沼道工事の影響で飛来が気になりましたが、三和区の西側を中心に、いくつかの群に分かれ、その数300~500羽ほど。年末までは、田んぼで元気に落穂や泥鰌を漁（あさ）る姿が見られます。

(3) 「川上善兵衛ものがたり」の連載開始

「たより」10月10日号にて紹介した「川上善兵衛ものがたり」（岩の原葡萄園発刊）が、新潟日報にて11月12日より連載開始。題して「葡萄色の夢を追いかけて」、作者は岩の原葡萄園の渡辺真守氏。毎週金曜日、100回を超える予定。

なお、岩の原葡萄園は、本年7月に「岩の原ワイン創業130周年記念トークセッション」（サントリー社共催）を開催、現在、YouTubeにて無料配信中です。善兵衛、勝海舟、鳥井信治郎各氏の末裔の方々によるトーク、およびマスカットベリー・Aに関する講演が視聴できます。

(3) 4年ぶりにカレンダーを発売

富士写真、内閣府、日本観光振興協会などのコンテストで数々の受賞をし、上越市観光ポスター(5種)も手掛ける寺尾昭人氏。



以前、カレンダー「サクラ・花恋ダア」で好評を博しましたが、このほど4年ぶりにオリジナル・カレンダーを制作し、発売中です。詳細は、Yahoo → 「エムエー・プランニングホーム / Facebook」で検索し、11月3日付けの2022Calendarをご覧ください。販売価格 1300円(税・送料込み)を、当会会員には特別に1000円(同)にて頒布します。

お申込みは、携帯 090-4057-6603 (寺尾) まで。

話題の新刊

80年ほど前、雪深い安塚の小黒村に、全国唯一の聾啞の村長がいたことをご存知でしょうか? その横尾義智村長は、昭和恐慌から戦時下という最も苦しい時期の12年間、村のため、先頭に立って数々の大きな功績を残し、さらには、全国の聾啞教育にも多大な貢献をされたのです。

このたび、その孫である河村一美氏は、「私 おじいちゃんの耳と口になる」を発売、偉大な祖父の感動的な生き方や考え方、それに実家の複雑な事情も含めて著しました。感動いっぱいの後感も多く、上越では大変話題となっています。

河村氏は、作家としても、BSN ドキュメント賞、井東汎賞、小川未明文学賞・優秀賞などを受賞、現在は、高田文化協会副会長であり、当会会員です。

なお、小説「私、おじいちゃんの耳と口になる」は、市価1000円(税込み)で販売しています。

ご注文は、TEL&FAX 025-525-2205(高田文芸協会 河村宛)まで。

「私、おじいちゃんの耳と口になる」の真実

高田文化協会 河村一美

晩秋の東頸城、今は安塚区になりましたが、この安塚のまた奥の行野集落が今年の夏、私が書いた本『私、おじいちゃんの耳と口になる』の舞台です。

橙々色の実がたわわに実る太い柿の木、農家の軒先に吊るされた干し大根、そろそろ雪囲いの季節なのでしょう、太縄と竹の棒が庭先に置いてありました。童謡「里の秋」を思わず口遊んでしまう風景です。

今では限界集落になってしまった安塚区の行野集落、そこで、祖父、横尾義智が生まれました。十何代か続いた地主の家に、ようやく男の子が誕生したのです。七人の娘たちのあとにようやくの男の子、跡継ぎの誕生でした。

曾祖父、横尾義周や周囲はどれくらい喜んだことか、想像できます。ところが、生まれた赤子は、聾啞という障害をもって生まれてきたのでした。曾祖父母、親戚はどれくらい世をはかなんだことでしょうか…。生まれつき、とも言われたり思いハシカで高熱が続いて耳が聞こえなくなった、とも言われましたが、どちらでしょう。

狭い東頸城地方です、婚姻は大小なりとも地主同士、だんだん血が濃くなっていったのでしょう。祖父のすぐ上の姉も聾啞だったと母から聞いています。

幼児期、なにも聞こえなかった祖父を思うと、私が抱っこして見える目を思いきり私に近づけて頼りたいたい心境です。曾祖父、母もきっとそうだったのでしょう。

…甘えに甘やかし…しかし、曾祖父の横尾義周（よしちか）はそうではなかった。

6才のなにもわからない子をひとり、東京へやったのです。明治時代のその頃、東京だけにあった東京聾啞学校に入学させたのです。祖父はどんなに心細かったことでしょうか、6歳の子が知人ひとりとしていない、東京での寮生活、二重苦の子供が、どうやって自分の意思を周囲に伝えたのでしょうか。しかし、父母の期待に応えるように祖父はあらん限りの力を出し、地主の跡取りに成るべく努力をした。その頃の祖父を思うと愛おしくてたまりません。

祖父だけではなく、そんな境遇に置かれた人は、神様が乗り移ったのではないかと思うような力を発揮するのではないのでしょうか。二年前にこれも私が書いた本なのですが、『昔、瞽女さんが雁木の町を歩いていたんだよ』という児童文学がありました。

目の不自由な瞽女さんが、「瞽女になるか、按摩さんになるか」と親に問われ、綺麗な着物を着て三味線を弾いて歌って人さんを喜ばすから、という理由で瞽女になり、唄、三味線を叩きこまれ、日常のあらゆる生きる術を会得し、芸を披露し日銭を稼ぐのです。山の地主さんのところに行くには、けもの道、谷あいの道を通り、川に架かる細い丸木橋を渡らなければならない…瞽女さん達はやってのけるのです。まさに神様が乗り移って助けてくれたとしか思えません。

パラリンピックでもそうでした。見ていてつらくなるような、腕がない脚がない…アスリート達。でも走り切る、泳ぎ切る。テレビの前で応援しながらも、ご両親のことを思っていました。落胆もあつたに違いない、でも才能を見出し、努力する子供を惜しみない愛で支え、ある時は心を鬼にし子どもを見守る。この子の将来のためだ。世間の荒波を乗り越えなければならない…。

その荒波を超えた人だけに神様が乗り移ってくれるのではないのでしょうか。パラリンピックを見ながら、祖父も障がい者だったし、私もいつ障がい者になるかもしれない。障がい者になっても、神様が乗り移ってくれるほどの努力をしたいと思います。

この本を読んでくださった方は「おじいさまは凄い努力の人だったのですね」と感動してくださいます。祖母の内助に、周囲の応援に支えられ、聾啞という障がいを持ちながら、村長を勤め、聾啞教育に身を注いだ祖父・横尾義智は、まぎれもなく私の祖父で、私もその努力の人の血を受け継いでいると思うと誇らしいのですが、ここから心の闇が始まります。

私が結婚し子どもができた時、「どうか、聾啞の赤ちゃんが生まれませんように」と神仏に祈ったのはなぜでしょう。私は、風上にも置けない弱い人間であるのでしょうか。それとも母となる身なれば当然なことであったのでしょうか。この本を書いたことにより、私は心の奥で、一生この痛み

を背負い、味わっていかなければならないと、時折り苛まれているのです。

おじいちゃん、ごめんなさい。この本を読んでくださった多くの聾啞の方達、ごめんなさい。これが真実なのです。

終り



昭和23年5月28日
高田にて左より河村さん、母、
祖父（横尾義周）、祖母

上越市からのお知らせ — 「上越で働く」U・Iターン個別相談会の開催

U・Iターンに伴う、仕事を中心とした暮らし全般に関する相談をお受けします。ご家族やお知り合いに、U・Iターンを検討している方がおられましたら、ぜひご紹介ください。

日 時：1月22日（土） 午前10時～午後5時（1人45分間）

場 所：WEB会議システム「Zoom」を使用し、オンラインで開催

対 象：上越市へのU・Iターンを検討している人

募集人数：6人程度

申込締切：1月7日（金）までに電話（025-520-5674）または

メール（jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp）で自治・地域振興課へお申込みください。

その他：相談時刻等は直接申込者へお知らせします

上越産品販売のお知らせ

- ネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A3版1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

- 「新潟・上越妙高うまさ直送！雪国マルシェ」
恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、
下記にて予定しています。
日時 12月18日（土）、同19日（日）
1月29日（土）、同30日（日）
2月26日（土）、同27日（日）

会場 有楽町 交通会館1F。
開業時間 11：30 - 17：30

- 常設店舗 「雪国商店」

場所 有楽町交通会館1F。

営業時間 11：00 - 19：00 年中無休
（年末年始は休業）

ネットで「雪国商店」を検索してご覧ください。

雪国商店では、少しでもふるさとへ帰った気分を味わっていただくよう、品揃えをしてお待ちしております。ネット「雪国商店」でも検索してご覧ください。

☆お問い合わせ先：JCV東京情報センター 03（5218）7730

会員ひろば

すべて好き 心休まるふるさと

佐久間昇二（横浜市青葉区在住 高田出身）

毎年楽しみにしているお盆の故郷のお墓参り、コロナのおかげで今年も中止かと諦めかけていた。しかし岩野勇三個展が小林古径記念美術館であるとあっては何としても故郷を訪ねたい。それも9月20日で終わる。そこで、ついでに上越市内のお墓だけでもお参りしようと思い立ち、女房と娘と3人で9月12日、13日1泊2日の旅に出た。只実家や親戚の家は訪ねないという寂しい条件で。岩野勇三君は高田高校出身（1950年・昭和25年卒業）東京造形大教授。中原悌二郎賞受賞の著名な彫刻家。今年生誕90年の節目の年。

高田城址公園に彼の作品を展示する岩野勇三ブロンズコーナーがある。私とは高校同期。しかも、ともに野球部員。彼ライト。私セカンド。喜びも辛さも共に分かちあった。その彼の作品展が9月20日まで。帰郷をこれ以上遅らせる訳にはいかない。

宮崎館長、市川主任学芸員の懇切なご案内を受け、彼の作品約 30 点、3 部構成で、彼の作家としての成長を追うように見せて頂いた。

高校の先輩小田三月さんによれば 癌と壮絶に戦いながら最後の作品「牧歌」を仕上げ 翌日亡くなったと言う。彼はその作品に彼の生命力のすべてを注ぎ込んで放立ったと言う。私が彼と大阪で最後に会った 1 年後のこと。その作品のエスキースを見ながら勇三君の凄まじい作家魂に身を震わせた。

彼の師 佐藤忠良さんは 彼を「人間として 作家として卑しさの片鱗も見せずに見事に去っていった岩野勇三であった。」と評されている。

勇三君は こんな言葉を残している。

「物を創造しようとする時は常に自分の能力を出し切り、さらに、自分の限界を少しでも突き破ると言う気持ちを持っていなかったならば、良い仕事は出来ないものです。」



小林古径記念美術館にて
左より 宮崎館長、佐久間さんご家族



市川主任学芸員と奥様、お嬢様

古径記念美術館に入る前に 蓮池に沿ってブロンズプロムナードを散策した。そして途中の赤い西堀橋の真ん中で素晴らしい景色を楽しんだ。蓮の葉に池が厚く、濃く包まれていた。残念ながら花の多くは実(み)に置き換わり、僅かに残されて花が池に色をそえていた。そして 真っ青な大空のかなた遠く妙高山が美しく、凛々しく聳えている。何と素晴らしい光景か。故郷に戻った。この美しい風土の中で育った幸せを今、胸一杯に感じた。いつも岩関順雄さんがフェイスブックで四季折々に送って下さる素晴らしい故郷の景色が今私の目の前にある。



林富永邸のランチとデザート(創作料理)

古径記念美術館を後にして 次の目的地 三和区の林富永邸に向かった。

「古民家ならぬ”文化財カフェ”築 140 年の歴史が息づく旧家で、苔むす庭を眺めながら」ご当主夫妻に変わって長女里香さんが新しい文化財保護活動の一貫としてはじめた CAFE HAYSHI が評判で、特に最近始めた “1 日 1 組 貸し切りランチ” が

素晴らしいとの評判(伊藤会長のお勧めもあって)東京から予約してあった。

里香さんのいわば「地域産物を活かした創作料理」さすが評判通り。素晴らしい。言葉で表すより写真を見ていただきたい。どれもが一つ一つ工夫され、見た目もよく、味はまさに一流。至福の時間を過ごせ、大満足。

勿論、上越市指定文化財 林富永邸そのものが素晴らしい。

故郷の最も古い素晴らしさと最も新しい素晴らしさが見事に融合した林富永邸での時間をお過ごしになる機会をお持ちになることをお勧めする。

(2021 年 10 月 6 日 記)

(編集部注) 佐久間昇二氏は、ご高尚の通り、J ネットの初代会長を務められました。

「上越市を語ろう」－皆様の手で上越市の魅力を発信

当会HPでも会員以外の閲覧も多く、上越に関心や興味をお持ちの方は大勢おられます。ところが、上越は意外と知られていないのが現実です。

上越線の走る上越との混同もしばしば、ましてや、当上越市の面積が東京23区の1.5倍、上越・北陸の両新幹線が利用でき、東京から2時間の距離であること、歴史と豊かな文化、海と山に恵まれ、食事やお酒がとびつきり旨いことなどは、あまり知られていません。これでは、観光や産業の誘致、移住のお勧めもできません。

そこで、上越応援団たる会員の皆様にお願いです。広宣の最も強力な手段「口コミ」を活用し、リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越についてふれていただき、上越の宣伝をしていただきたいのです。よろしくお願いいたします。

瀧川鯉橋師匠 出演予定

鯉橋：03-3845-1202

◇12/1(水)～5(日) 浅草演芸ホール・夜の部

時 間：午後5時～8時45分 ※鯉橋の出番は午後7時ごろ。交互出演のため出演日未定。

木戸銭：3000円

主 任：瀧川鯉斗。ほかに米助、ナイツなど出演。

お問合せ：03-3841-6545(浅草演芸ホール)

◇12/12(日) 鯉橋の落語でひとやすみ(第35回)

時 間：午後4時～5時半ごろ木戸銭：1000円。

出 演：鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの高座有り。

会 場：喫茶「ひとやすみポン」(板橋区若木2-34-15) ◇10/11(月)

～20(水) 新宿末廣亭・夜の部

時 間：午後5時～8時半ごろ ※鯉橋は午後7時半ごろ出演。

木戸銭：3000円 主 任：雷門小助六。ほかに伯山・ねづっちなど出演。

お問合せ：03-3351-2974(末廣亭)

お問合せ：03 - 3971-4545(池袋演芸場)

2022年

◇1/16(日) 鯉橋独演会 - 鯉のつなわたり・その17-

時 間：午後5時～7時

木戸銭：2000円出 演：鯉橋ほか

会 場：お江戸日本橋亭(地下鉄・三越前A10出口から徒歩2分)

お問合せ：03-3845-1202(鯉橋)

◇1/17(月) グリーンホール八起寄席

時 間：午後6時半～8時45分ごろ

木戸銭：1800円(前売1500円・65歳以上1000円など各種割引有り)

出 演：兼好、鯉橋、談修、文菊

会 場：相模女子大学グリーンホール(相模大野)

お問合せ：042-749-2200(相模女子大学グリーンホール)

皆様、どうぞお気をつけてお過ごしくくださいますよう。

瀧川鯉橋拜

●●●●●●●●●● ネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験や思い出、上越の魅力、上越に役立つようなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。

送信先：k.miyazato@araip.co.jp

<訂正とお詫び>

「たより」10月10日号の「エドウィン・ダンがやってきた頃の直江津はどんな町? その2」の文中で、船屋とあるのは、正しくは附船屋です。訂正し、お詫び申し上げます。



「小林古径記念美術館」 撮影 松本栄規さん

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしくください。

◎次号「たより」は令和3年12月25日の発行です。